

# 令和元年度第2回神岡地域協議会会議録

令和元年7月8日

神岡地域協議会

## 令和元年度第2回神岡地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	4
■協議・報告	4
(1) 域枠予算活用事業について	4
(2) 神岡地域お知らせ版号外事業の結果について	14
(3) 大仙市ひとづくり・ものづくり応援事業審査会の結果について	14
■その他	15
■閉会	19
■署名	20

# 令和元年度 第2回神岡地域協議会 会議録

---

■日 時： 令和元年7月8日（月） 午前10時

■会 場：神岡庁舎 3階 大会議室

■出席委員： 10名

齊 藤 亘、伊 藤 明 美、久米川 和 行、今 真 弓  
齊 藤 恵 子、齊 藤 劦、齊 藤 博、鈴 木 幸 一、  
高 橋 しげ子、中 村 淑 子

■欠席委員： 6名

今 野 公 行、齊 藤 由 紀、佐々木 徹、鈴 木 幸 寿、  
鈴 木 美 保、傅 野 和 樹

■出席職員： 6名

齋 藤 博 美（神岡支所長）  
小田原 一 春（市民サービス課長）  
岩 根 浩 幸（農林建設課長）  
藤 井 良 子（中央公民館長）  
舩 谷 恵理子（地域活性化推進室 主幹）  
佐 藤 孝 （地域活性化推進室 主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名員の指名
- 5 案 件
  - (1) 地域枠予算活用事業について【協議】
  - (2) 神岡地域お知らせ版号外事業の結果について【報告】
  - (3) 大仙市ひとづくり・ものづくり応援事業審査会の結果について【報告】
- 6 その他
- 7 閉 会

---

(午前10時 開会)

○小田原市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）

おはようございます。本日は、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。

ただ今から令和元年度第2回地域協議会を始めさせていただきます。

はじめに、齊藤会長よりご挨拶をいただきます。

○齊藤神岡地域協議会会長（以下「会長」と表記）

皆さんおはようございます。第2回目の地域協議会のご案内をいたしましたところ、このような好天でお忙しいところと思いますけれども、多数のご参加をいただきましてありがとうございます。まだ梅雨明けされてないですけれども、雨の少ない梅雨かなと感じております。大仙市内もこの春は水不足で、田植えを断念したという地域もございますし、田植えをしたものの枯れてしまったというところもあるようです。これから一荒れ来るのかなと感じておりますが、くれぐれも災害となることがないように願いたいものだと思っておるところです。

今回の協議会では新規事業があるようですので、地域活性化のためにご助言をいただければと思っております。本日もよろしく願いいたします。

○市民サービス課長

ありがとうございました。

続きまして、齊藤支所長よりごあいさつを申し上げます。

○齊藤神岡支所長（以下「支所長」と表記）

皆様、改めましておはようございます。今年度第2回目、令和になって初めての地域協議会を開催いたしましたところ、委員の皆様にはお忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日は、先程齊藤会長さんがおっしゃられたように新規事業を含めた市民主導型事業5件、行政主導型事業1件につきましてご審議をお願いいたします。災害についてのお話もありましたが、本当にこのいい天気先々の荒れる天気繋がらないかと、いい天気の下でも安心してられない気持ちが少し残念に思っております。

それでは、4月の地域協議会以降の当支所管内の主な出来事についてご報告させていただきます。

はじめに、平和中学校野球部ですけれども、第34回秋田県中学校春季軟式野球大会で見事全県優勝を果たしました。令和初代の優勝校となったわけですけれども、夏の大会では皆さんご存知のとおり何度も全県制覇を果たしている平和中学校ですが、この春季大会での全県優勝というのは初めてだったということで、大変嬉しいスタート

を迎えたところでした。ただ、残念ながら夏の大会は全県優勝を果たすことができませんで、さらに、昨日と一昨日に湯沢市で開催されました全日本少年軟式野球大会東北Bブロック大会は、2つ勝ちますと全国大会に出場できる大会で、全国大会の会場は横浜スタジアムということで、子ども達も一生懸命優勝を目指して頑張ったと思いますけれども、残念ながら決勝で春の大会で準優勝の学校に敗れてしまったという報告を受けております。ただ、中学校のバドミントンは今年も全県大会出場が決まっておりますし、空手の方は既に全国大会出場が決まっておりますので、子ども達にはこれからも頑張っていたきたいと思っております。次に、7回目の実施となりましたチャレンジデーですけれども、4年ぶりに2勝目を収められたということで、ご協力に感謝申し上げます。6月23日ですけれども、地域の魅力再発見事業としてこれまで皆様に色々お願いをしてまいりました「音楽交流館祭り2019～パフォーマンス in KAMIOKA～」が、音楽交流館を会場に行われました。当日は、来場されたお客様が約300人、出演者が約200人、ボランティア、スタッフを合わせますと約550人以上が集まった大変にぎやかなイベントとなりまして、色々な方からご協力をいただいて無事に第1回目を終えることができました。この後、検証をしながら来年の第2回目の開催に向けて準備を進めていくこととなりますので、また皆様からのご助言とご指導をよろしくお願いいたします。北檜岡の方々からは事前の環境整備の草刈りや、当日の縁日コーナーの運営などに携わっていただきました。また、地域協議会委員の方々からも当日会場にお見えいただきまして、お昼の時間帯にチューリップの球根プレゼントということで、委員の皆様のご協力をいただきながら、小さい方の花壇でしたが雨の中で除草作業と球根を掘り起こして希望者にプレゼントをしました。残った球根は山積みにして、横に球根プレゼント中という看板を立てていましたが、先週の金曜日に行ってみましたら、大きい球根は持って行っていただいていたようでした。大きい方の花壇はまだ手つかずの状態ですので、今日の会議の最後の方で皆様からご協議いただきたいと思っております。6月23日はイベントが重なりまして、大仙市消防団の消防訓練大会が開催されております。今年から市内3地域での開催となりまして、神岡支団は大曲、南外支団と合同で、大曲地域で開催された大会に出場いたしました。小型ポンプ操法の部は3位までが郡市大会に出られるということでしたが、4位ということで残念ながら郡市大会の出場権を得ることができませんでした。6月26日には市政懇談会が福祉センターを会場に開催され、約20名の方々と我々職員が参加しました。出席された皆様には感謝申し上げたいと思っております。6月30日ですけれども、東京嶽雄会が開催されております。今年は40回目の節目ということで、参加総数78名の総会となりました。支所からは、この地域協議会で作成した地域カレンダーを持参させていただきました。会員の皆様からは大変好評で、半年経ってからのお届けでしたがハガキとしてや家に飾ってもらっても良いですというお話をしましたら、とても懐かしい風景が喜ばれましたし、このアングルはどこから撮ったのか、今度行ってみたいのというお話も何人かからいただきました。東京嶽雄会は大仙市内の各地

域の首都圏ふるさと会の中では一番歴史のある会のような形です。今回40回目の節目に合わせるような形で、6月10日に「ふるさと神岡から東京嶽雄会を応援する会」が設立されました。それぞれの活動をお互いに応援し合い、交流を深めることを目的に立ち上げた会でありまして、地域協議会の齊藤会長さんや自治連の齊藤会長さんからも趣旨にご賛同いただき加入していただいております。この後、地元の会員さんをもっと増やしていければと思っておりますのでよろしく願いいたします。7月3日には平和中学校の避難所開設訓練が行われました。自主防災組織、自治会の皆様にはご参加をいただきましてありがとうございました。

ここからはこの後の事業となりますけれども、7月13日からは全国500歳野球大会が、7月27日からは全県550歳野球大会が開催されます。また、皆さんもご存じのとおり選挙戦にも突入しております。参議院議員選挙の投開票日は7月21日となっております。神岡地域の期日前投票は7月10日からスタートいたしますのでどうかよろしく願いいたします。長くなりましたが、以上の報告をもってご挨拶とさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

#### ○市民サービス課長

この後の会議の進行につきましては、大仙市地域自治区の設置に関する条例第8条4項の規定に基づきまして、齊藤会長をお願いいたします。

#### ○会長

それでは会議を始めます。本日、傅野和樹委員、今野公行委員、齊藤由紀委員、佐々木徹委員、鈴木幸寿委員、鈴木美保委員より欠席の届けが出席されておりますが、委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立していることを報告いたします。

次に会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は、3番今真弓委員と5番齊藤恵子委員をお願いいたします。

それでは、本日の案件に入ります。

はじめに地域枠予算活用事業についてですが、今回、市民主導型の新規事業があります。申請団体の代表者がお見えになっておりますので、ご説明をお願いいたします。事業名は「Jinguji キャンで〜ず活動支援事業」、申請団体はJinguji キャンで〜ずを応援する会です。お願いいたします。

#### ○Jinguji キャンで〜ずを応援する会 高橋代表（以下「高橋代表」と表記）

【「Jinguji キャンで〜ず活動支援事業」について説明】

・市民主導型

Jinguji キャンで〜ず活動支援事業

事業の目的：神岡地域の伝統文化の情報発信のため「Jinguji キャンで〜ず」の子

どもたち一人ひとりが楽しくいきいきとしたパフォーマンスができるよう意識向上につながる活動支援を行う。

申請者：Jinguji キャンで〜ずを応援する会

事業費：212,126円

申請額：163,678円

#### ○会長

それでは、資料No.1及び資料No.1-1の「Jinguji キャンで〜ず活動支援事業」について、ご質問を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

私の方からよろしいでしょうか。事業内容と見積り等を見ますと花髪飾りやTシャツプリント代とありますが、このあたりの所有といたしますか完成後の管理について伺います。Tシャツなどはプリント代のみですので、個人で購入したものにプリントをするというお考えだと思うのですが、そうなれば個人の所有になるのではないかとありますが、そのあたりはいかがでしょうか。

#### ○高橋代表

現在あるTシャツは活動費で作っておりまして、全てよさこいの方の所有です。プリントしたTシャツも、使い終わったら全て回収することとなっております。花飾りも同様です。

#### ○会長

ありがとうございます。もう一点よろしいでしょうか。団体の名称がJinguji キャンで〜ずを応援する会となっていて保護者会ではないというのは、保護者以外の会員も求めているということなのか、そのあたりのご説明をお願いいたします。

#### ○高橋代表

保護者会は設立当初からありましたが、それとは別に応援する会として新たに立ち上げました。会員は現在は保護者がほとんどですが、キャンで〜ずを応援したいという強い気持ちから、神岡小学校の校長先生やほかの5人の先生方を含めたメンバーとなっています。今後は、卒業した保護者の皆様や地域の方々にもお声掛けして、応援する会に入っただけできるよう働きかけていく予定です。

#### ○会長

ありがとうございます。学校でのキャンで〜ずの位置づけを教えてください。

#### ○高橋代表

最初は同好会でしたが、イベントに行く途中や現地で事故などがないように顧問の先生がついております。学校では部活動の一環として取り扱われております。

○会長

ありがとうございます。

何かご質問のある方はいらっしゃいませんか。

○齊藤勲委員

普段から様々なイベントに出てください、盛り上げてくれて非常にありがたいと思っておりますが、私の認識ではやはり神岡小学校の部活動の一つという認識です。それに対しての応援する会ということで、今回申請があがってきたということは、地域枠の規定に沿っているということでしょうけれども。今、学童野球がなくなってスポーツ少年団になるなど色々と変わってきていますけれども、例えば野球やバスケなどスポ少から設備費や新しいユニフォームが欲しいとなってくると、全てこの地域枠を活用という形になるのでしょうか。

○会長

事務局から回答をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

まず、それぞれの団体の立ち位置と、所管課から補助金が出ていないかを確認することが大事だと思います。キャンで～ずさんの場合はどこに所属するのかというのを学校に確認したところ、スクールバンド部などのような完全なる部活動と違って設立当初の同好会のままで、ただ子ども達の安心安全のために先生達がついているので、そういう点から言うと部活動になりますという返答でした。ですから、補助金がダブっているということもありませんので、申請をいただくという判断に至りました。

○久米川和行委員

保護者会と応援する会は全く別の団体という認識でよろしいでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

そうです。

○久米川和行委員

応援する会に保護者は入りますか、入りませんか。

○事務局（地域活性化推進室）

入っています。

○久米川和行委員

そこが皆さん疑問に思うところなのかと思ひまして。保護者会は保護者会、応援する会は応援する会で活動すべきだと私は思っています。尚且つ、応援する会の明確な立ち位置だったり活動だったりがないといけないのかなと思ひますので、そこは気をつけていただきたいと思います。

○会長

貴重なご意見として伺っておきます。ほかにご質問はございませんか。

○鈴木幸一委員

だいたい一人当たりどのくらいかかるものでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

単純に人数で割ると5, 400円くらいです。

○高橋しげ子委員

よろしいでしょうか。以前は心紬さんから衣装を提供していただいて、それをお母さんたちが直したり、飾りなども直したりということで一生懸命やっている団体です。そういうことで道具なども劣化したので、キャンで～ずを応援する会を立ち上げてやってみようということだと思ひます。地域の人達も子ども達から元気をもらっていて、私達もサロン祭りに来てもらったりしてすごく喜んでもらっていますので、これからは頑張ってもらいたいということで応援したいと思ひています。ただ、久米川委員がおっしゃたことも考えながら進めていかなければいけないというのは感じております。

○久米川和行委員

基本的に、私はこの地域の子供達に対する支出が一番いいと思ひております。この前、市長とお話した時にも、地域枠予算は地元のスボ少の活動などにどんどん活用してほしいというようなことも言われました。ただ、申請や使用の仕方というのは、いただいている分しっかり気を付けなければいけないと思ひます。キャンで～ずの場合は顧問を置いているので立ち位置が非常に微妙ですので、保護者会とは別に応援する会を立ち上げていいと思ひます。非常に活動も活発ですし、何かイベントがある時にあちこちの市町村の会議に出ても、Jinguji キャンで～ずを呼んだらどうかという声があるので、活動自体も認められていますし、飴売り節という伝統文化を発信するという点でも素晴らしい活動をしていると思ひていますので。何の活動でも道具は劣化していきますし、それを全部保護者のお金で払っていくというのは大変だということも重々理解しています。ただ、申請の仕方やお金の使い道というのはきちんとしないといけないと思ひますので、保護者会は保護者会、キャンで～ずを応援する会は応

援する会で神岡地域の人を含め募集をかけても良いでしょうし、そこをしっかりとやっていたら良いのかなと私は思います。

○支所長

先程、予算というお話をしましたが、市から出ている予算とはダブリで使えないという大前提がありますので、そこは小学校にも確認しまして、部活動としての活動費のようなものは一切ないということでした。

○久米川和行委員

ただ顧問がついているだけということですよ。

○支所長

そうです。今回、保護者会で衣装を更新する時期に合わせるということでしたけれども、これまで保護者会の会計で頑張って積み立ててきていました。ただ、それでも衣装のリメイクが精一杯ということで、であれば、子ども達の頑張りに何とか応えてあげたいという思いもありまして、先生方も何か応援することができないかなということでした。

○久米川和行委員

部活でなければ大丈夫だと思いますので、あとは、保護者会と応援する会は全く別組織にして、応援する会で申請をしていただいた方がスムーズなのかなと思います。

○事務局（地域活性化推進室）

今現在は応援する会として会則を作って、会としてちゃんと立ち上がっています。保護者会の会員とダブっている方がほとんどで、それに学校の校長先生をはじめ他の5人の先生というメンバーですけれども、保護者会は6年生が卒業するとその保護者の方は脱退しますが、応援する会はそのまま籍を置いていただくということです。

○支所長

今は保護者会と応援する会がそれぞれありますけれども、この後、色々なところからこういった申請があがってくるとなれば、もしかすれば小学校は小学校で色々な活動をしている子ども達を応援する会として、一本化していかなければいけない時代も来るかもしれません。ただ、今の段階ではこの形で申請をいただくという判断に至ったところですよ。

○久米川和行委員

Jinguji キャンで〜ずについては、神岡の昔からの文化を発信しているということ

で素晴らしいと思っています。ですので、むしろ保護者会で申請していただいた方が良かったのではないのかなと思います。なぜわざわざ応援する会を作ったのか、メンバーもほぼ保護者会と一緒にということですし、保護者会で申請した方が良かったのではないのでしょうか。

#### ○支所長

保護者会の会則を見せていただいたのですが、応援をするというような内容になっておらず、純粋に応援をするという会則に則った会の方がいいのかなということもありまして。

#### ○久米川和行委員

もちろん前向きに出していただきたいと私は思いますので、後々困らないような形に修正をしていただきたいと思います。

#### ○齊藤劭委員

反対しているのではなくて、地域住民のほとんどが活躍の恩恵に与っていますし、非常にいいことだと思いますが、地域枠というのが妥当なのかなというだけの問題です。というのは、小学校も中学校も生徒数が少なくなってきた、PTA 会費だけでは賄っていけないのは目に見えています。だから、外部からの資金がないと活躍の場に出られないという時代になっていくというのは間違いないと思います。例えば、だいたい前に平和中学校では体育部、文化部を応援する後援会のようなものを作って、住民から寄付を募って様々な部活動に分散して活用しているという例もありましたので、もしかしたら神岡小学校さんでもそういう方向で、キャンで～ずさんだけでなくもっと大きく考えていただいた方がスムーズなのかなとも思います。もちろん、地域枠というのは地域で考えて特色を持って使うのが最善ですけれども、そのことが後々色んなところに波及しないようにしないといけないのかなと思っています。まして学校というのは教育委員会の管轄なので、そこに別の管轄のものがどんどん入っていくのいいことなのか、こちらは学校内の活動ですので、初めは教育委員会の予算を獲得するのが一番なのかと思いますが、そうすると時間がかかってしまうということで、別の道を探していくのだと思います。そういう事情を地域の人をもっと認識して、学校教育に協力できるような形が作られるのが本来ではないかなと思ってでした。キャンで～ずさんが活動してくださっていることに対しては感謝していますし、これからの活躍も期待しています。これは毎年というのではなくて足りない部分を補充することなので、今回はこういう形で補助してあげて、その後は神岡小学校さん全体として考えていただいた方が良いのかなと思っています。

○会長

ありがとうございます。将来を見据えたお話もお伺できたなと思います。いずれのご質問もご意見も否定されたものではないようですので、ほかにこの事業に対してご質問がなければ、後ほど審議という形をとりたいと思います。

私から一点よろしいでしょうか。会則の中で会計年度が1から12月となっておりますが、年度ではない理由は何かございますか。

○高橋代表

よさこいの活動としては、11月に行われます飴売り節の全国大会が最後の出演となっており、6年生はそこで退団となりますので。

○会長

わかりました。事業名が活動支援事業ですので、先程、単年度というお話もありましたが、応援する会は大事に温めていただいて、毎年の事業として期待されてもよろしいかと私は思いますので、頑張ってくださいと思います。

ほかにご質問がなければ、ここで高橋代表は退席という形になります。よろしいですか。それでは、高橋代表の方には審議結果を後程ご報告いたします。本日は大変ありがとうございました。

○高橋代表

ありがとうございました。

【高橋代表退室】

○会長

続きまして、その他の地域枠予算活用事業について、事務局から説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【資料 No. 1 の 2 番以降について説明】

・市民主導型

スポーツ交流会

事業の目的：①老人クラブの会員同士がスポーツを通じ、健康増進と親睦交流を深める。

②行事に参加することで、楽しんでもらい閉じこもりを無くす。

申請者：神岡スポーツ交流会実行委員会

事業費：89,000円

申請額：74,000円

・市民主導型

第13回北檜岡納涼の夕べ

事業の目的：お盆に帰省する方々を含め、北檜岡三町内の会員が一堂に会し、親睦、交流を深める。

申請者：北檜岡三町内会

事業費：122,474円

申請額：65,000円

・市民主導型

神岡地域資源ゴミ集団回収事業

事業の目的：資源ごみの有効活用

申請者：神岡地域リサイクル推進協議会

事業費：130,000円

申請額：130,000円

・市民主導型

神岡小学校PTA主催研修会

事業の目的：ブラボー中谷氏の講演から夢をかなえるためにどのように生きるのか親子で考える機会とする。

申請者：神岡小学校PTA

事業費：100,000円

申請額：80,000円

○会長

ありがとうございました。それでは、ただ今の5つの案件につきまして、1件ずつ協議していきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

はじめに、先程のJingujiキャンで〜ずを応援する会による「Jingujiキャンで〜ず活動支援事業」について、ご意見等ございますでしょうか。先程たくさんご意見、ご質問をいただいたのでよろしいでしょうか。

それでは、「Jingujiキャンで〜ず活動支援事業」につきまして、承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

ありがとうございました。

続きまして、神岡地域スポーツ交流実行委員会による「スポーツ交流会」について、ご意見をお伺ひいたします。

ございませぬか。それでは「スポーツ交流会」につきまして、承認してよろしいで

しょうか。

(「異議なし」の声)

ありがとうございます。

続きまして、3つ目の北檜岡三町内会の「第13回北檜岡納涼の夕べ」について、ご意見をお伺いいたします。

これも地域活性化のために良い事業だと思いますけれども。なければ「第13回北檜岡納涼の夕べ」について、承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

ありがとうございます。

続きまして、4つ目の神岡地域リサイクル推進協議会による「神岡地域資源ごみ集団回収事業」について、ご意見をお願いいたします。

こちらも継続ですので、特にご質問がなければ「神岡地域資源ごみ集団回収事業」につきまして、承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

ありがとうございます。

続きまして、5つ目の神岡小学校PTAによる「神岡小学校PTA主催研修会」について、ご意見ご質問を頂戴いたします。

私から一つ確認をさせてください。事業名は神岡小学校PTA主催研修会となっております。講師の方はマジシャンのブラボー中谷さんです。申請書の内容を確認させていただきましたが、今回の研修会は講演会であってマジックショーではありませんね。

○久米川和行委員

そうです。校長先生がブラボーさんの話をどうしても子ども達に聞かせたいということでした。

○会長

ほかにご質問ございませんでしょうか。なければ「神岡小学校PTA主催研修会」につきまして、承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

ありがとうございます。

それでは、資料 No. 1 の市民協働型・市民主導型事業の協議は以上といたします。

続きまして、行政主導型事業について協議いたします。事務局から説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【資料 No. 2 に基づき説明】

・行政主導型

地域環境整備支援事業

事業の目的：地域の観光名所や憩いの場の環境整備

申請者：地域活性化推進室

事業費：496,596円

申請額：496,596円

○会長

それでは、行政主導型事業につきまして協議いたします。

皆さんからご意見、ご質問を頂戴いたします。

労務費が昨年より上がったように思いますが。

○事務局（地域活性化推進室）

単価は昨年と同じ940円です。

○会長

毎年、難儀をかけている割には安いなという話をしておりますが、市の取り決めでそうなっているのでしょうかね。

○事務局（地域活性化推進室）

本当に、この単価でやっていただけたところはほかにはないと思っています。

○会長

事業申請とは関係ないかもしれませんが、市役所の方で利用頻度の調査などはしたことがあるものですか。

○市民サービス課長

全体的な利用状況は把握しておりませんが、フットパスはウォーキング等で利用している方々が見受けられます。山の方ですけれども、いこいの森は好きな人達が結構行ったりしていて、嶽山の方も山菜採りの方々が行ったりしていて、多いとは言えませんが使う人達がいるので、ある程度手を入れていく必要があると感じています。

○会長

せっかく頑張って綺麗にさせていただいて、それが当たり前と思われてしまっても困りますので。

何かほかにこの件につきましてご質問ございませんか。

ないようですので、行政主導型事業につきまして承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

ありがとうございます。以上で行政主導型事業の協議は終わらせていただきます。続きまして、案件(2)神岡地域お知らせ版号外事業の結果、(3)大仙市ひとつくり・ものづくり応援事業審査会の結果について事務局からの説明をお願いいたします。

○事務局(地域活性化推進室)

【資料 No. 3 (神岡地域お知らせ版号外事業) について説明】

【資料 No. 4 について説明】

・ものづくり応援事業

よしか「WAKUWAKU」大作戦事業

事業の目的：これまで培った地域の力を無駄にせず「よしかタンポポ」という地域資源を大切に守り育て、地域の振興を図る活動と共に環境保全と経済活動の活性化を図る活動に関する事業を行い、地域活性化に寄与するとともにNPOとして「新しいコミュニティスタイル」の構築を目指す。

申請者：よしかタンポポの会

事業費：6,048,005円

申請額：4,961,000円

・ものづくり応援事業

「南外さいかい市」拠点形成事業

事業の目的：地域課題である買い物困難者解消の一助となるよう、地域住民が主体となって住民の生活を支える「買い物の拠点」を運営し、山菜、野菜、漬物等地域資源を活かしたコミュニティビジネスに取り組む。

申請者：南外さいかい市運営委員会

事業費：5,215,800円

申請額：4,694,000円

## ○会長

ありがとうございました。それでは「神岡地域お知らせ版号外事業」と「大仙市ひとづくり・ものづくり応援事業審査会の結果」について、皆さんからご意見、ご質問等ございませんか。

よろしいですか。なければ「神岡地域お知らせ版号外事業」と「大仙市ひとづくり・ものづくり応援事業審査会の結果」については以上といたします。

続いて、次第の6. その他について、事務局からお願いします。

## ○事務局（地域活性化推進室）

去年から引き続き行っております、音楽交流館の花壇についてご協議いただきたいと思っております。支所長の挨拶の中にもありましたが、6月23日に小さい方の花壇の球根を掘ってプレゼントしましてだいぶ捌けたようでしたが、大きいほうの花壇はまだそのままの状態となっております。この後の作業としては、まず球根を掘り起こして、耕起をしていただいて、また新たな花を植えなくてはいけないところです。以前にヒマワリというお話もありましたが夏しかもたないですし、水やりの関係もありますので、できるだけ難儀しないようにとなると、まず球根は掘っていただいて支所で乾燥させて、地域文化祭の時などにプレゼントという形として、次に植える夏の花についてご意見をいただきたいと思っております。その後、秋口には防草シートを張ってパンジーを植えるというのはどうかと考えていますが、いかがでしょうか。

## ○支所長

この間掘ってくださった方々はお分かりだと思っておりますけれども、だいぶ雑草も増えて、しかも茎を残していた部分もみんな折れてしまうようになってはいますが、球根の場所がわかるようにそのまま残している状態です。とりあえずは、大きいほうの花壇も一度手をかけないと、次に進めないのかなと思っております。

## ○齊藤勲委員

委員だけで管理していくとなると、なかなか大変かと。

## ○支所長

夏の管理が大変となると、今の球根は掘って処理をして防草シートを張って、秋にまた何か植えるということも考えられるかと思っております。地域協議会の自主事業ですので、委員の皆さんのお考えもあるかと思っておりますのでご相談をさせていただきました。

○齊藤勲委員

協力をしてやっていかないと。やる時は皆に声かけをしていただいて、一緒にやらなければいけないと思いますし。

○会長

まず一度掘り返さないといけないでしょう。そのままにしておくと、また来年生えてしまいますし、生えても小さくなっていってしまいますし。パンジーは来年の話でしたか。

○支所長

パンジーは秋に植えて冬越しして春に咲くという感じです。チューリップにするかパンジーにするかという感じですが、それは秋の話ですので。とりあえずは今の球根を掘って、県から借りている花壇をあのままにはしておけないのでというところです。

○会長

そうすれば、まず一つは夏場をどうするかを決めないといけないということですね。球根は掘ることにして。夏場に適当なものがありますか。

○齊藤博委員

コスモスはだめでしょうか。

○会長

散らかってしまって。球場の横にも植えたことがあったと思いますが、大変群生していくものでした。どうしましょうか。植えばなしでいいものはないですね。

○齊藤勲委員

水をかけないと。小学校の時も水やり当番を決めてやっていましたけれども、雨が降るとやらなくてよかったりとしているうちに誰も行かなくなってしまって。

○岩根農林建設課長

雨降りが続くと今度は病気になってしまったりしますし。

○齊藤勲委員

病気になると刈ってあげたりしないと。あの場所はなかなか見ないというか、目にする事あまりないんですね。

○支所長

チューリップは評判がよかったですよ。

○高橋しげ子委員

見た人達から綺麗だという話は結構聞きました。

○会長

背の低いヒマワリはだめですかね。

○事務局（地域活性化推進室）

だめではないと思います。

○会長

あれも沢山並べると綺麗だと思いますけれども。まだ間に合いますかね。今からだと苗で植えるしかないですよ。

○齊藤勲委員

いずれ、背の高くなるものはだめだと思います。風で歩道や車道に倒れるとだめです。ベゴニアなどは今でも大丈夫ですかね。

○支所長

ギリギリだと思います。

○会長

植えるとすれば早急に手をうたないといけないでしょう。今月中にアクションを起こせば間に合うような植物はありませんかね。

○事務局（地域活性化推進室）

マリーゴールドとかでしょうか。

○支所長

現場に行って掘ってみて考えるというのものもあるかと思いますが。本当にだめだとなれば、除草してシートをかけてしまって秋を待つとかでしょうか。いずれあのままにはしておけませんので。

○会長

金額については見積もり次第でしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

花苗の予算としては、91円から92円のを2,200本分で計上しています。

○会長

90円くらいというと、どういうものですか。

○事務局（地域活性化推進室）

ペゴニアとかマリーゴールド、サルビアなどです。

○会長

当初はヒマワリという話ではなかったでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

そうすればヒマワリを調べてみます。

○会長

ヒマワリが大丈夫だとすれば、球根の方を早めに処理しないといけないということですね。

○齊藤恵子委員

また雨が続くようなので、その前にやっしまわないと。

○会長

去年そうだったので。秋雨がきたら土が乾けなくて、でも植えてしまわないといけない時期が来てしまったのでやったら、かえって土が硬くなってしまって。

そうすれば、ちょっとヒマワリを検討しませんか。苗ということで。花壇の現状処理は見に行きながら考えます。そういうことでよろしいでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室）

はい。

○会長

そうすれば、事務局にはご難儀をおかけしますが見積もり等をしていただいて、最低でも7月中にやれないといけないと思いますので。

○事務局（地域活性化推進室）

はい。よろしくお願いします。

○会長

そうすれば、花壇については追って方法と日程の連絡があると思いますので、ご協力をよろしくお願いします。

そのほかに事務局から何かございますか。

○支所長

もう一つの自主事業について、冒頭でも少しお話させていただきましたが、神岡地域カレンダーがとても好評だということで、今年もう一度作る計画ですので、また写友「嶽」の皆さんからご協力をいただいて準備を進めるということによろしいでしょうか。

（「異議なし」の声）

そうしましたら、写友「嶽」の皆さんにまたお願いして、2020年のカレンダー作成の準備をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

もう一つですけれども、地域協議会委員研修についてです。今年度も10月の第4回地域協議会終了後のあたりが季節的にも良いかと思っています。第3回を8月に予定してまして、そのあたりに研修内容について協議したいと考えていますので、ご希望等がございましたら次回の協議会でご提案をくださるようお願いいたします。以上です。

○会長

ありがとうございました。

事務局からは以上のようなのですが、委員の皆様からは何かございますか。

ないようですので、本日の協議はすべて終了しました。大変長時間ご協議をいただきましてありがとうございました。これをもちまして会議を閉じさせていただきます。大変お疲れ様でした。

---

（11時28分 閉会）

神岡地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

今 真 弓

---

齊 藤 恵 子

---